

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/パズル/短歌
- 4~5面 飲食店を応援/土地利用規制法案/ジェンダー講座/ホット
- 6面 手づくり布ナプキン/母の歴史/自然とあそぼう!
- 7面 新婦人のページ/主張/遊びで育つ



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

生理用品のトイレ常備を あたりまえに



エスディージーズ SDGs 持続可能な開発目標

#新婦人に入ろう
#一緒に変えよう

生理用品 無料に



コロナ禍のなか、経済的事情で生理用品が購入できない「生理の貧困」が世界各国で社会問題となり、日本でも「生理用品の無料配布を」の運動が急速にひろがっています。



初の女性教育長と懇談【富山県本部】5月27日、初の女性教育長、女性活躍推進室長と懇談し、生理用品の無償配布を要請



生理用品を届けて【埼玉・鴻巣支部】中学校8校分の段ボール8個の生理用品を寄付し、学校配布を要請

生理タブーやぶった

「生理用品が1パック300円くらいでも、食費を切り詰め節約しているのに、生理用品をがまんして、子どもの食べ物やおやつにまわしたい」
— 新婦人大阪・中央支部が参加した食料・物資支援で寄せられた声です。
NHKテレビが「学生の5人に1人が生理用品入りに苦労」（「みんなの生理」調査）と報じたのは3月4日。
衝撃がひろがり、以来3カ月、自治体や国に對策を迫る声が一気に高まりました。内閣府が世界月経衛生デーの5月28日に発表した、初の調査では、生理用品配布にとりくんでいるのは39都道府県の255自治体（5月19日時点）。根深くあった「生理タブー」を打ち破る動きです。

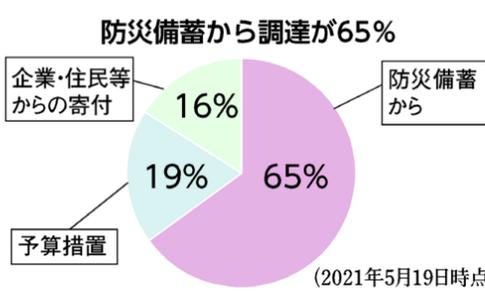
学校配布へ運動で動かした

当初、政府は3月に打ち出したコロナ禍の女性支援策で、初めて「女性用品」の名で生理用品提供を補正予算に盛り込んだものの、「これは女性活躍のためで、学校は支援対象ではない」と明言し、びくびく（3月25日、新婦人の政府交渉で）。
新婦人はいっせいに自治体に「学校配布を」と要請し、生理用品を段ボール箱で届けて寄付するなど、促進。また、「保健室に取りに行くのになく、トイレ個室に設置を」「生理で委縮する子

をなくし、性教育とジェンダー教育をどの子にも」「貧困対策にとどめず、トイレトペーパーのように生理用品が当たり前にある社会に」と求めています。
こうしたなか、政府は4月、「生徒、学生への支援」や「手にとりやすい場所」「保健室のほかに」など学校トイレ配備も含む通知を出し、初めて政府が調査し、学校配布が95自治体、学校トイレ設置が13自治体となっています。

国はふさわしい予算を

6月1日、政府の男女共同参画会議は、女性活躍重点方針案に「生理の貧困」への支援」を掲げ、「学校、ハローワーク、福祉事務所等における生理用品の提供」を明記。現在、生理用品を配布した自治体の調達元は、防災備蓄品が65%、臨時的な措置にとどまっています。自治体が独自に予算措置したのは19%。政府こそ、今回の一時的な補正予算にとどめず、必要な予算措置をとって推進すべきです。



生理用品を配布した自治体の調達元 内閣府男女共同参画局「生理の貧困に係る地方公共団体の取組」調査より作成

自治体への要請をさらに広げるとともに、「生理用品はせいたく品でなく必需品」（ニュージランド）「必要とする全て人に生理用品を無料で提供」（英スコットランド）という政府をつくりましょう。 <2面へ>



5月28日、日本婦人団体連合会（婦団連）がジェンダー4署名を国会に提出（写真）。つづいて6月1日には、女性差別撤廃条約実現アクション（OPCEDAW）による院内集会と署名提出が行われた（2面へ）

ジェンダー署名国会提出

